

# わたしたちの生活と行財政

## こんな仕事はだれがするの？

- 洪水を防ぐ堤防をつくる
- 道路、下水道をつくる
- 学校や図書館を整備する

## 1. 国と地方公共団体の仕事とは

現在の日本の経済のもとでは、わたしたちの生活に必要なものは、原則として個人や企業による民間の経済活動によってまかなわれています。しかし、わたしたちの生活に必要であっても、利潤をほとんど、あるいは全く生まないため、民間の活動では生産・サービスの提供を行わないものや、行っても十分でないものがたくさんあります。

また、治安の維持、社会保障や福祉の充実、失業やインフレなどの経済問題の解決などは、民間の活動だけの力で進めていくことはできません。

こうした、国民全体、または住民全体にとって必要なもので、民間の活動だけでは十分にできない公共の施設の整備や、公共的なサービスの提供が、国や地方公共団体の重要な仕事です。

国と地方公共団体は、わたしたちが健康で文化的な生活を維持するためにそれぞれの役割を分担し、お互いに協力しながら仕事（行政）を進めています。

## 2. 財政はどのようなはたらきをしているのだろうか

国や地方公共団体がそれぞれの仕事（行政）を進めるために行う経済活動を一般に「財政」といいます。そしてこの活動のために必要な費用のほとんどは、個人や企業から納められた「税金」によってまかなわれています。すなわち、財政は税金によって支えられているともいえるわけです。

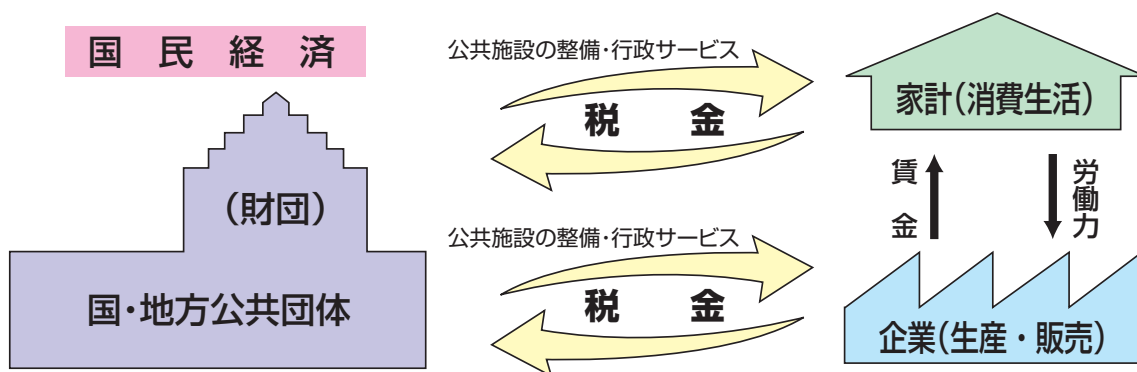
**財政のはたらきには、次の3つがあるといわれています。**

- ①資源の配分……国や地方公共団体に集められた税金によって、公共的な施設整備や公共的なサービスが行われ、社会全体に必要なものを整備し、国民経済の健全な発展を促します。
- ②所得の再配分…所得の多い人には高い税負担、所得の少ない人には低い税負担になるようなしくみ（累進課税制度）を導入しており、社会保障などの支払いを通じて、国民の所得の分配の不公平をやわらげる働きをします。

③景気の調整……不景気ときには財政支出を増やしたり、減税をしたりして、経済活動を活発にしようとします。反対に景気が行き過ぎたときには、財政支出を減らしたり、増税をしたりして、景気の変動を緩やかなものにし、物価の安定や完全雇用の維持をはかります。

このように、国民経済の中において、財政は非常に大きな役割を果たしています。

奈良県の財政は、知事が予算案を作成し議会の議決を受けたうえで、その予算を責任をもって執行しています。



## 豆辞典

**予算**……一般的には、一定期間の収入、支出の見積もりを予算といいます。国や県や市町村の場合は、毎年4月から翌年3月までを一つの年度として、その間の収入と支出を見積もり、あらかじめ年度の始まる前に国家予算は国会に、県予算は県議会に、市町村予算は市町村議会にはかってきめます。また、収入のことを「歳入」といい、支出のことを「歳出」といいます。